

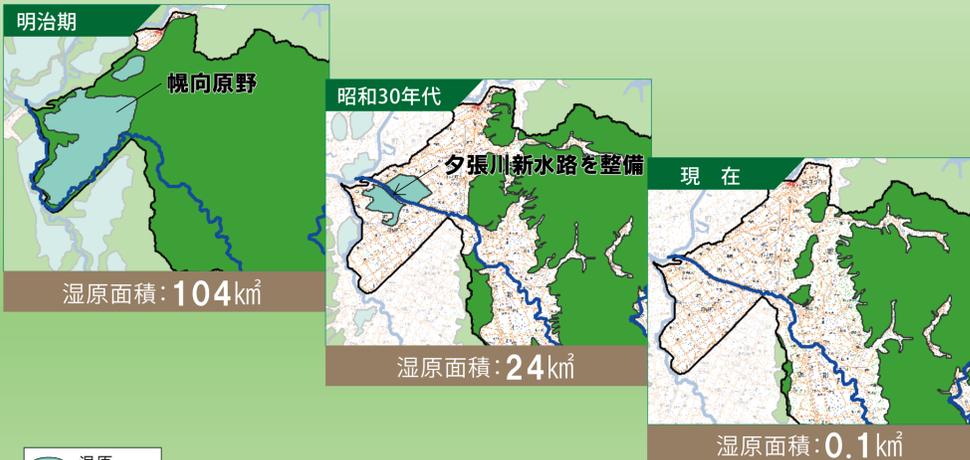
～ほろむい原野の原風景を目指して～

ほろむい

幌向地区の自然再生

消えゆく湿原、幌向原野

●幌向原野は都市化、農地化が進むなど、土地利用が急速に進展した一方、明治期には約104km²あった夕張川流域の湿原面積は約0.1km²まで減少しています。



●湿原 ●樹林 ●夕張川 ※北海道殖民地選定報文附図、国土地理院古地図、国土地理院地形図及び国土庁土地分類図(土壤図)をもとに作成。

ほろむい七草の危機

●かつて幌向原野に生育していたほろむい七草などの湿生植物は、現在はわずかに生育するのみとなっており、地域固有の湿生植物の生育がおびやかされています。



夕張川幌向地区では、昔の湿原を取り戻すための取り組みを行っています。

●湿生植物が育つ環境をつくっています。

●湿生植物を育成、導入しています。

●地域参加で導入した植物が成長、開花しています。



幌向湿原再生の喜び

2020年
9月13日(日)

受付 10:00～

～幌向湿原をめぐるフットパスを開催します～

開催場所：夕張川幌向湿原再生地

プログラム

午前
10:00～

受付開始
開会式
挨拶 江別河川事務所 林 利行
講演 「コロナ禍でのフットパス」
エコネットワーク代表 小川 巖

11:30～ 幌向湿原めぐりフットパス開始
(夕張川幌向湿原再生地～幌向湿原 約4km)
フットパス with 俳句(吟行)

12:30～ 昼食

午後
13:00～

「喜びの歌」 馬頭琴・喉歌奏者 嵯峨 治彦
ケーナ奏者 岡田 浩安
アイヌシンガー 豊川 容子

14:00～ ミズゴケ移植体験
16:00 解散



参加無料



おねがい：昼食はご持参ください。

〈主催〉ふらっと南幌、石狩川幌向地区自然再生ワークショップ
〈協力〉国土交通省北海道開発局 札幌開発建設部、南幌町 空知総合振興局

お問い合わせ 特定非営利活動法人 ふらっと南幌事務局 TEL: 090-3891-6675 (近藤)

<参加時のお願い>

皆様が安心して参加いただけるよう、ご理解とご協力をお願いします。



●マスク着用



●事前の検温



●適度な間隔



●連絡先の記録